

人権参観日

1月22日に、認知症についての授業と、民生児童委員の石井一代いっせさんの講演会がありました。

最初は認知症の人の心の中を想像して、接し方を考える授業をしました。全校1名だけなので、いつもは自分と先生の2人だけの意見しかないけれど、その日は区長さん達や、石井さん、自分の親もいて、いろいろな意見を聞きました。だから、今までよりも深く考えることができました。

その後の石井さんの講演会では、部落差別が、結婚の自由もうばうなど、被差別地区以外の人も被害者にするという言葉が印象に残りました。自分の生まれたところを言うことでさえ悩まなければならぬような部落差別は、絶対にあってはいけないものだと思えて思いました。

これからも、正しい知識を身につけて、考え続けていきたいです。

(伊与喜小学校 6年 山下 旺海)



私が大事にしたい権利

1月21日に人権参観日がありました。10個の権利から自分が大切だと思う権利を考える授業でした。それらの権利は、どれも生きていくのに必要な権利ばかりだったので、選ぶときにとっても迷いました。私が一番大切だと選んだのは、「愛したり、愛されたりする権利」です。理由は、家族に愛されたり、家族を愛したりして幸せに生きていきたいと思うからです。私と同じ権利を選んだ人もいたし、違う権利を選んだ人もいました。友達の見聞を聞いて、人によって大切なものは違うんだなと思いました。その後、体育館で中倉茂樹さんの講演を聞きました。最初は人権の話だから難しいのかなと思っていたけれど、話を聞いていると面白くて、分かりやすく話してくれました。中倉さんは自分の子どもたちの体験を話してくれました。



私は、人権学習が好きなもので、もともと話を聞きたくかったです。中倉さんの話を聞いて、これからもっと人権を学習したいなと感じました。

(佐賀小学校 5年 濱内 みやび)

岐阜県の小学生との交流

12月15日、総合的な学習の時間に、リモートで周りに海がない岐阜県の小学生と交流をしました。交流では、お互いの町の魅力や総合的な学習の時間でどのような学習をしているかについて発表しました。

私たちは「防災」「海」「森林」「グルメ」のグループに分かれて、プレゼンテーションをしました。発表後の感想では、岐阜県の皆さんから「避難タワーを初めて知って驚いた」「黒潮町に旅行に行きたい」と言ってもらえました。

この交流を通して、黒潮町には海や、森林、おいしい食べ物、防災の取り組みなど他の地域にないよさがたくさんあつて改めていい町だなと思いました。

岐阜の方々は、黒潮町の良さを知ってもらったし、逆に岐阜県の良いところも知れたのでこれからの学習に活かしたいと思います。



(入野小学校 6年 防災グループ
小林 憧子・西山 晴智・布村 琥心郎・松田 暁)